

図9

(2014年)

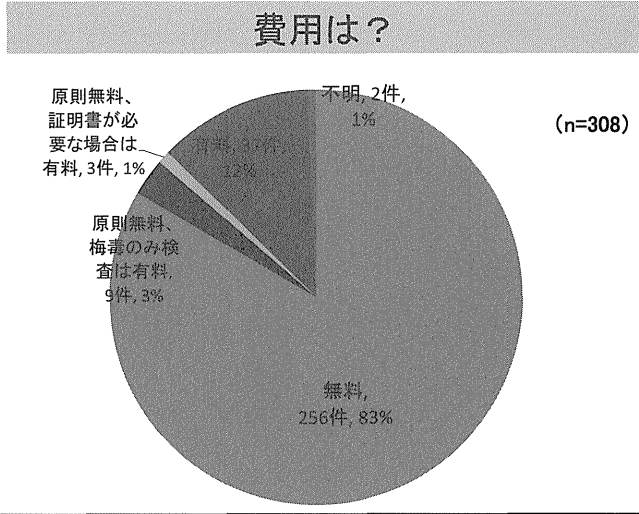
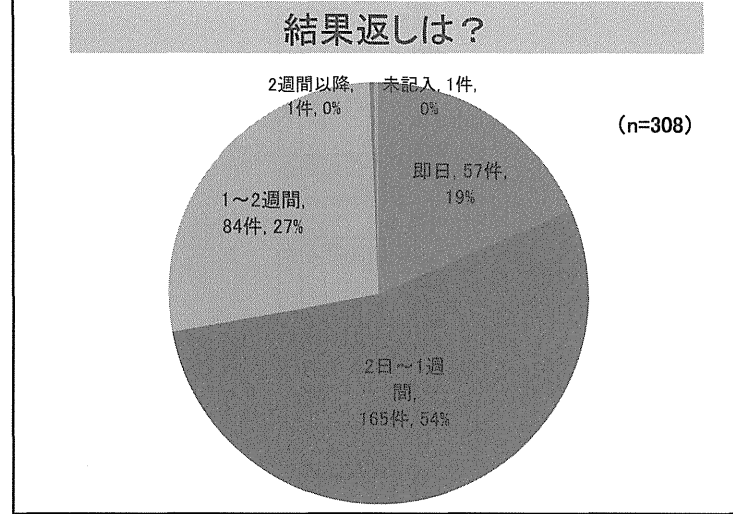


図10

(2014年)



1. 貴保健所ではHIV検査相談を行っていますか？

(n=469)

アンケート送付数 577
回収数 469 81.3%

はい	467件	99.6%
いいえ	2件	0.4%

「はい」と答えた保健所 → 平成26年1～12月の実施状況をお教え下さい。(n=467)

① HIV検査件数

検査数	94,419
うち陽性数	231
陽性率	0.24%

陽性経験数

陽性者があった保健所	114件	24.4%
陽性者がなかった保健所	353件	75.6%
回答なし		

年間検査件数別保健所数

年間検査数	保健所数	検査件数	陽性数	陽性率	陽性経験率	陽性経験数		
50件未満	157	33.6%	3,647	3.9%	6	0.16%	3.8%	6
50-99件	87	18.6%	6,160	6.5%	11	0.18%	12.6%	11
100-199件	93	19.9%	13,751	14.6%	31	0.23%	29.0%	27
200-499件	88	18.8%	27,519	29.1%	63	0.23%	44.3%	39
500-999件	29	6.2%	20,949	22.2%	44	0.21%	65.5%	19
1000件以上	13	2.8%	22,393	23.7%	76	0.34%	92.3%	12

② HIV検査結果を聞きにこなかった受検者数: 1,539人 (1.63%)

③ HIV検査での結果確認 (陰性者、陽性者別):

	陰性		陽性	
結果を聞きにきた	92,665人	98.4%	215人	93.1%
結果を聞きにこなかった	1,523人	1.6%	16人	6.9%
	94,188人		231人	

94,419人

④ 陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか？

	全体		陽性経験保健所	
ある	249	53.3%	86件	75.4%
ない	201	43.0%	28件	24.6%

(n=114)

⑤ 医療機関を受診したことを把握できている陽性者数: 182人 (84.7%)

⑥ 発生動向調査の報告を行ったHIV感染者数: 131人 (56.7%)

2. 貴保健所で行っているHIV検査相談事業の内容について教えて下さい。

① HIV検査と同時にHIV以外の性感染症検査を行っていますか？

行っている	400件	85.7%
行っていない	66件	14.1%
不明	1件	0.2%

「行っている」と答えた保健所 → 実施している性感染症検査項目に丸をしてください。(n=400)

梅毒	310	77.5%
クラミジア抗体	180	45.0%
クラミジア抗原	106	26.5%
淋菌	41	10.3%
B型肝炎	298	74.5%
C型肝炎	289	72.3%
HTLV-1	10	2.5%

② 定期的に行っているHIV検査の実施曜日と実施時間をご記入下さい。(n=467)

1 通常検査のみ	144	30.8%
2 即日検査のみ	195	41.8%
3 通常+即日	128	27.4%

通常検査を行っている 272
即日検査を行っている 323

A 平日昼のみ検査	236	50.5%
B 平日夜間検査	81	17.3%
C 土日検査	70	15.0%

1A 通常のみ+平日昼のみ	112	24.0%
1B 通常のみ+夜間も行っている	30	6.4%
1C 通常+土日検査も	2	0.4%
2A 即日のみ+平日昼のみ	83	17.8%
2B 即日のみ+夜間も行っている	80	17.1%
2C 即日+土日検査も	32	6.9%
3A 通常+即日・平日昼のみ	37	7.9%
3B 通常+即日・夜間も行っている	55	11.8%
3C 通常+即日・土日検査も	36	7.7%

② ア通常検査の場合

(n=272)

A. 予約制ですか？

はい	156	57.4%
いいえ	112	41.2%
回答なし	4	1.5%

B. 1回あたり上限はありますか？

(n=272)

はい	109	40.1%
いいえ	158	58.1%
回答なし	5	1.8%

上限がある場合、平均人数と分布

	通常	即日
平均数	11人	13人
10人未満	65件	140件
10-19人	21件	47件
20-29人	14件	14件
30-39人	5件	13件
40-49人	2件	5件
50人以上	1件	12件

C. プレカウンセリングを行っているか？

はい	260	95.6%
いいえ	4	1.5%
回答なし	8	2.9%

D. 結果返しは？

1週間後まで	184	67.6%
1週から2週後まで	81	29.8%
回答なし	7	2.6%

E. スクリーニング検査 実施施設は？

自保健所	54	19.9%
他保健所	32	11.8%
衛生研究所	104	38.2%
外部委託	82	30.1%

F. スクリーニング検査の方法は？

PA法	99	36.4%
IC法	61	22.4%
うちダイナスクリーン	17	
うちエスプライン	15	
EIA法	107	39.3%
その他	3	1.1%

G. 確認検査の実施施設は？

自保健所	12	4.4%
他保健所	13	4.8%
衛生研究所	175	64.3%
外部委託	67	24.6%
	267	98.2%

H. 検査陽性時の結果通知と確認検査検体は？

a. スクリーニング検査の陽性結果を通知し、その際に確認検査用の採血を行い、確認検査を実施する	22	8.1%
b. 最初に2本採血し、スクリーニング検査の陽性結果を一度通知した後、確認検査を実施する。	21	7.7%
c. スクリーニング検査陽性の場合には確認検査を引き続き実施し、受検者には確認検査結果を通知する。	218	80.1%
採血→スクリーニング+確認検査で1本	171	
採血→スクリーニング検査1本と確認検査1本の計2本	28	
その他	3	1.1%

② イ即日検査の場合

(n=323)

A. 予約制ですか？

はい	258	79.9%
いいえ	60	18.6%
回答なし	5	1.5%

B. 1回あたり上限はありますか？

はい	236	73.1%
いいえ	81	25.1%
回答なし	6	1.9%

上限がある場合、平均人数と分布

	即日
平均数	
10人未満	140件
10-19人	47件
20-29人	14件
30-39人	13件
40-49人	5件
50人以上	12件

C. プレカウセリングを行っているか？

はい	314	97.2%
いいえ	2	0.6%
回答なし	7	2.2%

D. 迅速検査で陽性(要確認検査)となった場合の結果返しは？

1週間後	188	58.2%
2週間後	124	38.4%
回答なし	11	3.4%

E. 迅速診断キットの検査実施は？

a.自保健所 検査職員	205	63.5%
a.自保健所 医師	20	6.2%
a.自保健所 保健師	41	12.7%
a.自保健所 その他	36	11.1%
b.臨時雇用 検査職員	27	0.0%
b.臨時雇用 医師	0	0.3%
b.臨時雇用 保健師	1	1.9%
b.臨時雇用 その他	6	9.0%
c.外部委託	29	0.0%

F. 確認検査 実施施設は？

自保健所	18	5.6%
他保健所	6	1.9%
衛生研究所	232	71.8%
外部委託	64	19.8%

G. 確認検査用 検体は？

迅速検査残血液	208	64.4%
確認検査用再採血	8	
迅速検査用と同時	53	33.7%
結果通知後	48	

③ 確認検査の方法は？（通常、即日共通）

(n=467)

WB法のみ	154	33.0%
2次スクリーニング+WB法	146	31.3%
WB法+NAT法	86	18.4%
2次スクリーニング+WB法+NAT法	56	12.0%
その他	1	0.2%
	443	

④ 受検者について把握している内容は？

(n=467)

性別	463	99.1%
年齢	331	70.9%
年代	191	40.9%
居住地域	184	39.4%
受検動機	398	85.2%
感染リスク	302	64.7%
性的志向	195	41.8%
感染機会の時期	378	80.9%
情報源	284	60.8%
その他	71	15.2%

上記の内容について事業改善等に活用していますか。

(n=467)

活用している	270	57.8%
活用していない	136	29.1%

⑤ 結果説明等について

A. 結果説明時の担当者

	陰性時		迅速陽性時		確認陰性		確認陽性時	
記入数	448		280		344		408	
医師	196	43.8%	242	86.4%	215	62.5%	404	99.0%
保健師	319	71.2%	218	77.9%	245	71.2%	309	75.7%
看護師	28	6.3%	7	2.5%	9	2.6%	12	2.9%
その他(カウンセラー等)	48	10.7%	27	9.6%	33	9.6%	108	26.5%

迅速検査陽性時、手渡し資料がありますか？

ある	228件	48.8%
ない	26件	5.6%
回答なし	213件	45.6%

B. 陽性者への説明事項のマニュアルがありますか？

ある	308件	66.0%
ない	133件	28.5%
回答なし	26件	5.6%

C. 陽性者への説明資料はありますか？

	全体		陽性経験保健所(n=114)	
ある	370件	79.2%	88件	77.2%
ない	78件	16.7%	21件	18.4%
回答なし	19件	4.1%	5件	4.4%

D. 陽性者への手渡し資料はありますか？

	全体		陽性経験保健所(n=114)	
ある	401件	85.9%	103	90.4%
ない	48件	10.3%	8	7.0%
回答なし	18件	3.9%	3件	2.6%

E. 確認検査で陽性の場合には届出をおこなっていますか？

	全体		陽性経験保健所(n=114)	
必ずおこなう	235件	50.3%	61件	53.5%
ほぼおこなう	43件	9.2%	12件	10.5%
おこなわない	23件	4.9%	6件	5.3%
医療機関に依頼する	133件	28.5%	34件	29.8%
回答なし	33件	7.1%	1件	0.9%

F. 感染予防のための行動変容を働きかける相談をおこなっていますか？ (n=467)

行っている	424	90.8%
行っていない	17	3.6%
回答なし	26	8.0%

対象は？

(n=424)

全員に	335	79.0%
一部に	86	20.3%

場面は？

検査前に	72	17.0%
結果説明後に	111	26.2%
両方に	247	58.3%

具体的手法は？

パンフレット、結果説明書を活用して	136
カウンセリング	73
予防法を中心に説明	37
口頭で説明	26
感染リスクの説明および予防法について	22
リスク行動の振り返り	18

G. 対応困難者の経験はありますか？

ある	198件	42.4%
ない	252件	54.0%
不明	17件	3.6%

対応困難者の紹介先はありますか？

(n=467)

ある	102件	21.8%
ない	313件	67.0%
不明	52件	11.1%

「ある」と答えた保健所→紹介先は？(複数回答あり)

(n=102)

医療機関	54件	52.9%
NGO等	36件	35.3%
その他	32件	31.4%

H 未成年の検査希望者への対応はどのようにしていますか？

(n=467)

通常通り行う	352件	75.4%
受け付けない	0件	0.0%
特別な配慮をする	96件	20.6%
→陽性時には親にも説明	32件	33.3%
→保護者同伴	19件	19.8%
→保護者の同意を得られているか	18件	18.8%
回答なし	20件	4.3%

⑥ ホームページ「HIV検査・相談マップ」をご覧になったことはありますか？

(n=467)

ある	416件	89.1%
ない	43件	9.2%
回答なし	8件	1.7%

⑦ 「HIV検査・相談マップ」は検査相談事業に役立っていると思いますか？

ある	361件	77.3%
ない	6件	1.3%
不明	91件	19.5%
回答なし	9	1.9%

⑧ 「HIV検査・相談マップ」から情報を得て受検された方はいらっしゃいますか？

いる	94件	20.1%
受検者の約 10%以下	7件	
受検者の約 10%～20%	9件	
受検者の約 20%～50%	20件	
受検者の約 50%以上	3件	
わからない	369件	79.0%
回答なし	4	0.9%

⑨ HIV検査結果の連絡・受け渡しについて (n=467)

昨年1月以降にHIV/性感染症検査(無料・匿名)に関して
誤った結果を通知したことはありますか？

なかった	467	100.0%
HIVについてあった	0	0.0%
STIについてあった	0	0.0%

1. (1) 貴保健所では梅毒の即日検査を行っていますか？ (n=463)

はい	61件	13.2%
いいえ	396件	85.5%

アンケート送付数 577
回収数 463
80.2%

1. (2) どのような条件があれば即日検査が可能となりますか？(複数回答可) (n=396)

自治体本庁の方針であれば実施する	268	67.7%
職員の増員	88	22.2%
予算の増額	118	29.8%
受検者の定員削減	6	1.5%
梅毒迅速検査キットの信頼性の保証	89	22.5%
医療機関の協力・連携	43	10.9%
梅毒即日検査相談のマニュアル配布	97	24.5%
必要性を感じていない	45	11.4%
その他	38	9.6%

HIV検査事業と一緒に「梅毒検査を行っている」と答えた保健所のみ (n=308)

308
168

2. (1) HIV検査件数

検査数	49,335
うち陽性数	698
陽性率	1.41%

66.5%
698人

陽性経験数

陽性者があった保健所	171件	55.5%
陽性がなかった保健所	137件	44.5%

2. (2) 梅毒検査の方法について(STS法、TP抗体検査)

【STS法】

RPRカードテスト	224	72.7%
自動化法	9	2.9%
実施していない	16	5.2%
未記入	59	19.2%

【TP抗体検査】

通常検査で実施	226	73.4%
即日検査で実施	54	17.5%
未記入	28	9.1%

2. (3) 即日検査が陽性であった場合の対応は？(即日検査実施施設のみ) (n=61)

医療機関を紹介	44	72.1%
STS法を実施し後日結果を通知する	1	1.6%
未記入	16	26.2%

(このほか16件・・・即日検査「実施してない」保健所が回答)

2. (4) 検査時間帯は？ (n=308)

HIV検査と同時	299	97.1%
ほぼ同時	3	1.0%
午前と午後	1	0.3%
未記入	5	1.6%

2. (5) 予約制ですか？ (n=308)

はい	190	61.7%
いいえ	113	36.7%
未記入	5	1.6%

2. (6) 費用は？ (n=308)

無料	256	
(単独検査の場合有料)	9	87.0%
(証明書が必要な場合有料)	3	
有料	37	12.0%
不明	2	0.6%

2. (7) 結果返しは？ (n=308)

即日	57	18.5%
2日～1週間	165	53.6%
1週間～2週間	84	27.3%
2週間以降	1	0.3%
未記入	1	0.3%

3. 問題点、課題等

<ul style="list-style-type: none"> ・検査体制の整備、検査を実施している病院の把握。 ・結果は電話で通知のため、連絡が来ない方へ結果を知らせることができない。 ・梅毒検査相談担当者のスキルアップ。 ・受検しやすいよう休日・夜間検査体制づくり、検査の周知、ハイリスク者掘り起し。 ・人員体制の関係でHIV検査と同時に実施せざるを得ないため、相談・説明場面で1人にかかる時間が長くなり、職員の増員を行う必要がある。 ・検査試薬購入費が不足し十分に検査を実施できないことがある。
<ul style="list-style-type: none"> ・保健所のHIV検査の受検者数と国内HIV感染者患者数の推移から考えると、今の保健所のHIV検査体制のような方式で国内の全保健所が梅毒検査を実施しても、国内梅毒患者感染者の増加抑制効果に対して発現しないと思う。新たな国内梅毒スクリーニング検査体制を作る際には、性行動発年代層や梅毒患者感染者の意見や受検行動に関するインタビュー調査を行ったうえで、それらを加味した効果的な国内スクリーニング検査体制を構築することが、梅毒の早期発見と早期治療、結果として感染の伝播の抑制につながっていくと考える。加えて、STIに罹患しない行動や生き方について、生徒学生自身が自ら考えることに重点を置いた授業を学校(中学校、高校、大学等)で行う事が不可欠と考える。(保健所長の意見)
<ul style="list-style-type: none"> ・匿名検査、来所による結果通知のため、来所されない場合こちらから連絡が出来ず結果通知できない。 ・HIV検査と同時のため匿名で検査。結果は後日になるため検査結果を確認しない人もいる。匿名なのでHCからは連絡を取ることでもできず対策、治療に結びついていない事例もある。 ・プライバシーの関係上、受検者が結果について問い合わせをしないと陽性であっても結果が伝えられない。
<ul style="list-style-type: none"> 臨床検査技師がいる保健所で梅毒検査をせず専門職種の配置のない区役所で検査を実施している。市のSTI対策の方向性が見えない。
<ul style="list-style-type: none"> ・本課の方針による ・保健所で梅毒と診断し、医療機関へ紹介する際、梅毒は診れないと断られることが多い。治療後の治癒判定目的に再来所される方もいる。(医療機関における診療体制の不備)